



平成31年

支部長會議・新年懇親会

午後4時 支部長會議

午後5時 新年懇親会

日時 平成31年1月26日(土)

会場 五州園

埼玉県立本庄高等学校同窓会

《 目 次 》

| | |
|----------------|------------|
| 第2回支部長会議次第 | 1 P |
| 同窓会第2回ゴルフコンペ報告 | 2 P |
| 朝日新聞記事 | 3 P |
| 「新年懇親会」次第 | 4 P |
| スローガン | 5 P |
| 校歌 | 6 P |
| パンフレット | 7 P |
| 参加者名簿 | 8 P から 9 P |

[埼玉県立本庄高等学校同窓会]

平成 30 年度第 2 回支部長会議次第

◆日 時 平成31年1月26日(土)

午後4時

◆会 場／五州園

1 開会のことば

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

4 校長あいさつ

5 報告事項

(1) 会報「柏陵」(第49号)の発行について

(2) 第二回同窓会ゴルフコンペ成績報告について

(3) 平成30年度同窓会奨学生制度選考結果について

6 議 題

(1) 創立百周年記念事業実行委員会組織について

(2) その他

7 閉会のことば

本庄高等学校同窓会第2回ゴルフコンペ報告

| | | | |
|-------|------------------------|-----|-------|
| 1 開催日 | 平成30年11月12日(月) | | |
| 2 会 場 | 玉村ゴルフ場 | | |
| 3 参加者 | 37名(女性6名) 4回卒から24回卒 | | |
| 4 成 績 | | | |
| 優 勝 | 西本征弘 (12回卒) | ネット | 73, 6 |
| 準優勝 | 小高隆雄 (18回卒) | ネット | 74, 0 |
| 3 位 | 岡田英男 (15回卒) | ネット | 74, 2 |
| 女性1位 | 菅原清子 (19回卒) | ネット | 79, 0 |

5、エージショット達成者

飯島 操 (12回卒) 77歳 グロス 76
西本征弘 (12回卒) 76歳 グロス 76

6、狩野輝昭同窓会長より 会長賞

森 本庄高校校長より校長賞
をご提供いただきました。

次回は2019年に第3回ゴルフコンペを開催いたします。
皆様のご参加をお願いいたします。

平成30年12月30日 朝日新聞

本庄高同窓会へ匿名で1000万円

県立本庄高校（本庄市）の同窓会に、匿名で1千万円の寄付があった。OBのかは不明だが、善意の主の「奨学金資金に」という希望に沿い、昨年作った奨学制度の原資にすることに。同窓会側は「本当にありがたい」と喜んでいる。

同窓会は昨年度、母校の創立95年を記念して寄付などを元に1千万円の基金による奨学制度を創設。「成績優秀でかつ向学心がありながら経済的理由で修学が困難な生徒」10人に、年10万

円ずつ給付している。

毎年秋に出す同窓会報「柏陵」に、昨年に続いて制度創設と給付の報告を載せた後の10月17日、会報に載せた同窓会費の納入口座に1千万円が振り込まれた。口座のあるゆうちょ銀行から連絡があり、振込用紙の連絡欄に「奨学金資金に役立て」と書いてあったことを知らされた。同窓会の狩野輝昭会長は「会報に同窓会は金がなくて困っていると書いたが、まさかこんな寄付があるとは」と話した。（坂井俊彦）

「奨学金資金に」



【埼玉縣立本庄高等學校同窓会】

平成 31 年「新年懇親会」次第

日時 平成 31 年 1 月 26 日(土)
午後 5 時
会場／五州園

- 1 開会のことば
- 2 スローガン唱和
- 3 校歌斉唱（埼玉縣立本庄中學校、埼玉縣立本庄高等女學校）
- 4 感謝状贈呈
- 5 会長あいさつ
- 6 来賓ごあいさつ

- 7 顧問紹介
- 8 乾　杯

—懇　談—

S e p t e m b e r M o o n 演奏ステージ

- 9 出席者自己紹介

- 10 一の〆
二の〆
三の〆

- 11 埼玉縣立本庄高等學校 校歌斉唱（生演奏）

- 12 閉会のことば

スローガン

- 1 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し、
母校の発展に寄与しよう。
- 1 本校同窓会の旗の下に結集し、
地域に香り高い文化の花を咲かせよう。
- 1 人間関係を大切にし、
会員相互間に親睦の輪を拡げよう。
- 1 組織を整備強化し、機能的な連絡網を拡充して、
同窓会の活性化を図ろう。
- 1 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成に努めよう。

埼玉縣立本庄中學校校歌

埼玉縣本庄高等女學校校歌

埼玉縣立本庄高等學校校歌

作詞 田口正義
作曲 高橋寿

一、松は緑に 八千草匂ひ

児玉の原の 歴史は長し

心の眼 まなこ
朽ちせぬ光

猛きほまれは武藏七党

いにしへ人の 勲業継ぎて

本庄中學 立てり氣高く

二、正しく毅く のぞみ
希望は高し

盡くす責任に 身をば捧げて

自治向上の 旗勇ましく

理想の光 輝く柏葉

若き力に 生氣あふれて

本庄中學 立てり雄々しく

作詞 高野辰之
作曲 信時潔

一、眺遙けき本庄の

少女我等は恵まれたる身

利根の流に廣きをたゞへ、

赤城の山に高きを仰ぐ。

二、果てしなき野を吹き渡る、

風は荒めど我等が胸は、

晴れし御空の明るく清く、

常に和みと誠を抱く。

三、昔の跡にかへりみて、

時の姿の正しき影を、

追はん教の場なる我等、

若き泉の若きに生きて。

作詞 土岐善磨
作曲 信時潔

一、連峯雲にかゞやくところ

知性の道を正しく踏みて
浅間はけだかく赤城は深し
真理をもとむる自主のこゝろ
あふるる希望に風晴れたり

二、勤労ひろく力をあわせ

河あり大利根ゆたかに流る
この麦実りこの桐茂り

郷土の榮を常に負え
ひとしく伸びゆく身も健やか

三、残雪春は櫻にかすみ

鳥なき渡るや秋空澄めり
自然の秩序昼夜舍かず

友情柏のみどり若く

自由と平和にみなこぞれり

あゝわれらの本庄われらの高校
われらは世界と共にあり